



女子栄養大学 香川昇三・綾記念展示室
平成27年度第15回企画展示

人々の健康のために 『栄養と料理』 の80年

おかげさまで

80周年



昭和29年
香川綾(55歳)と編集部員



1933(昭和8)年、香川昇三・綾夫妻は共に
医師として脚気治療の食事を研究した経験から
食生活の改善によって病気を予防できることを知り、
人々に広く伝えるために本学園を創立しました。
2年後の1935(昭和10)年には、
より多くの人々に医学や栄養学などの科学的知見と
それを家庭の食生活に実践する方法を伝えようと、
学園の講義録を『栄養と料理』として刊行を始めました。
以来、月刊誌として刊行を続けて80年になります。
その内容を追うと日本人の健康問題や食生活の歴史も
見えてきます。戦前安定期、食糧窮乏期、食生活安定期、
食生活回復期、栄養飽和期、食生活見直し期の
6つの時期に分けて80年の歩みを紹介します。



昭和14年の学園紹介記事



計量スプーンとへの金型



昭和57年 毎食計量して『食事日記』に記載(綾83歳)



戦前・戦後の『栄養と料理』切り抜き



香川綾97歳の食卓

平成27年3月9日(月)～平成28年3月初旬

開室日時：月曜日～金曜日 9:10～17:00

土曜日 9:10～12:00

※電力事情等で時間変更をする場合があります。

閉室：日曜・祝日・年末年始 ※学校行事等で閉室する場合があります。

入室料：無料

交通案内：東武東上線「池袋」駅より急行42分、「若葉」駅下車徒歩3分

女子栄養大学
香川昇三・綾記念展示室

埼玉県坂戸市千代田3-9-21
坂戸キャンパス4号館(図書館棟)2階
☎049-284-3489
ホームページ <http://www.eiyo.ac.jp>